

平成 25 年度 主要講座

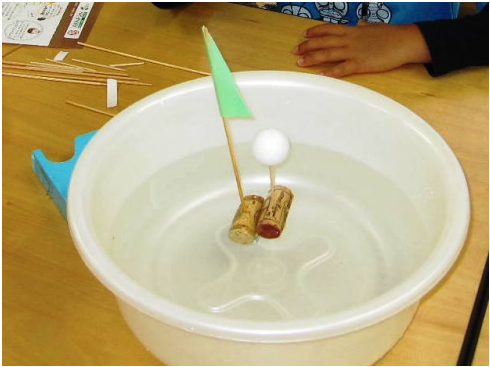
(1) エコライフ講座

番 号	No. 1	
区 分	専門分野講座（外部講師）	
講 座 名	子育て世代向け講座 ～食の安全を考えよう～	
日 時	4月24日（水） 10：00～12：00	
講 師	今井光代氏（アースネット・なごや）	
対 象	18歳以上（幼児同伴可）	
参 加 人 数	36人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	環境ホルモンや食品添加物などについて知り、食の安全を考える。	
参加者の反応	子育て中の母親にとって興味深い話ばかりで、「勉強になった」、「食事についてもっと気をつけたい」などの声が多かった。参加者からの質問も多く、関心の高さを感じた。	
材 料 ・ 道 具		

番 号	No. 2	
区 分	エコ絵手紙講座	
講 座 名	春編	
日 時	4月27日（土） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	5人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	旬を描く絵手紙を通して、エコについて考え発信する。 地産地食について考える。	
参加者の反応	季節のモチーフを楽しく描きながら、「毎日のくらしにいかせる話も聞けた」と好評だった。	
材 料 ・ 道 具	筆、水彩画道具、絵手紙道具、描きたいもの（花、果物など）、古タオル	

番 号	No. 3	
区 分	eco-T 映画会	
講 座 名	「ライフ ～いのちをつなぐ物語～」 上映会	
日 時	5月3日（金） 10：00～12：00	
講 師		
対 象	3歳以上 （小学3年生以下は保護者同伴）	
参 加 人 数	73人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	環境問題への関心や造詣を深めるために、映画「ライフ」を鑑賞した。	
参加者の反応	「生きものが生き抜く姿に感動した」、「子どもと一緒に楽しめた」との声が多くあった。	
材 料 ・ 道 具		

番 号	No. 4	
区 分	エコットクッキング	
講 座 名	五目混ぜご飯を作ろう	
日 時	5月11日（土） 10：00～13：00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上の親子	
参 加 人 数	19人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	豊田市産の食材を用いて調理をし、地産地食を考える。	
参加者の反応	豊田市産の食材を用いたり、型抜きしたあとの人参や大根を利用してスープをつくるなど、ごみを減らす工夫も紹介した。子どもたちからは「リンゴの飾り切りに挑戦したことが楽しかった」との声もあった。	
材 料 ・ 道 具	エプロン、三角巾、ふきん、マイ箸	

番 号	No. 5	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	おもりのはたらきを調べよう	
日 時	5月12日（日） 9：30～12：00	
講 師	市民ボランティア	
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	14人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	バランスとは何か、自然と力のバランスを考える。	
参加者の反応	「やじろべえやヨットを使った実験が楽しかった」との声が多くあった。	
材 料 ・ 道 具		

番 号	No. 6	
区 分	かんたんエコ手芸教室	
講 座 名	コースターをつくろう	
日 時	5月18日（土） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	中学生以上	
参 加 人 数	10人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	小さな布をいかす工夫をしながら、手芸を楽しむ。	
参加者の反応	「はぎれや使わなくなったハンカチなどの小さな布で素敵な小物が簡単にできた」と好評だった。	
材 料 ・ 道 具	裁縫セット、ものさし、古布・はぎれ（手ぬぐい程度のサイズ）	

番 号	No. 7	
区 分	エコクラフト	
講 座 名	ペットボトルでガーデニングをしよう	
日 時	5月26日（日） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	3歳以上（小学生以下は保護者同伴）	
参 加 人 数	16人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	ペットボトルを使い、オリジナルのプランターを作り、植物を育てる。	
参加者の反応	小さな子どもでも個性あふれるプランターを作ることができ、「楽しかった」との声があった。	
材 料 ・ 道 具	ペットボトル、カッターナイフ、ハサミ、シールなど飾りたいもの	

番 号	No. 8	
区 分	リメイク講座	
講 座 名	エプロンをつくろう	
日 時	6月20日（木） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	18歳以上（幼児同伴可）	
参 加 人 数	10人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	着なくなったシャツやブラウスからエプロンを作る。	
参加者の反応	「えりやボタンなど、シャツの形をいかしたエプロンが斬新だった」、「たばこの穴があいたようなシャツもいかせてよかった」と好評だった。	
材 料 ・ 道 具	裁縫道具、ミシン、シャツやブラウス（大きめのもの）	

番 号	No. 9	
区 分	専門分野講座（外部講師）	
講 座 名	アメリカ生活から見てきた環境取組と国立公園	
日 時	6月29日（土） 10：00～12：00	
講 師	浅野智恵美氏	
対 象	18歳以上	
参 加 人 数	25人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	アメリカの生活環境の実態、良い点、悪い点を知り、自分たちのくらしを見つめ直す。	
参加者の反応	ごみ処理の効率化を図る施策や、大手の食品企業が積極的に「海のエコラベル」の認証を取得していることなど、現地のくらしで体験した具体的な話を聴くことができた。	
材 料 ・ 道 具		

番 号	No. 10	
区 分	エコットクッキング	
講 座 名	そうめんチャンプルをつくろう	
日 時	7月7日（日） 10：00～13：00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上の親子	
参 加 人 数	23人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	夏野菜料理を通して、野菜の旬について考える。	
参加者の反応	子どもの苦手なゴーヤもシェイクにするなどの工夫を紹介し、「はじめて食べられた!」とうれしい声もあった。	
材 料 ・ 道 具	エプロン、三角巾、ふきん、マイ箸	

番 号	No. 11	
区 分	もった博士のかかく倶楽部	
講 座 名	降雨チェッカーと雨の科学	
日 時	7月14日（日） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	36人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	雨が降った時に知らせてくれる装置を作り、電気やエネルギーについて考える。	
参加者の反応	はんだ付けなど、子どもだけでは難しい作業が多く、保護者が手伝いながら作っていた。子どもたちからは、「もっと電子工作に挑戦したい」、「難しかったけれど、おもしろかった」という声があった。	
材 料 ・ 道 具	電子部品、はんだごて	

番 号	No. 12	
区 分	かんたんエコ手芸教室	
講 座 名	コサージュをつくろう	
日 時	7月20日（土） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	中学生以上	
参 加 人 数	12人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	はぎれやネクタイを利用して、華やかなコサージュを作る。	
参加者の反応	「不用のネクタイが生まれ変わるのはうれしい」、「少し難しいところも丁寧に教えてくれてよかった」との声が多かった。	
材 料 ・ 道 具	裁縫セット、ものさし、使わなくなったネクタイやハンカチ	

番 号	No. 13	
区 分	エコクラフト	
講 座 名	アイデア貯金箱をつくろう	
日 時	7月21日（日） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生（1・2年生は保護者同伴）	
参 加 人 数	29人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	空き箱やペットボトルなどを使って貯金箱を作る。	
参加者の反応	「夏休みの工作にもなる」と毎年好評の講座。「自分では思いつかないようなアイデアを教えてもらえてよかった」などの声があった。	
材 料 ・ 道 具	はさみ、のり、定規、包装紙、シール、色紙	

番 号	No. 14	
区 分	エコクラフト	
講 座 名	夏休み課題のポスターを描こう	
日 時	7月28日（日） 10：00～15：00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生（1・2年生は保護者同伴）	
参 加 人 数	56人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	エコをテーマにポスターを描き、環境への関心を深めるきっかけにする。	
参加者の反応	「自宅ではなかなかかからないポスターができてよかった」、「アドバイスやヒントをもらえて絵が描きやすかった」との声があった。	
材 料 ・ 道 具	絵の具セット、クレヨン、画用紙、画板、タオル	

番 号	No. 15	
区 分	バスツアー	
講 座 名	発見！豊田の自然エネルギー	
日 時	8月7日（水） 9：00～16：30	
講 師		
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	29 人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	自然エネルギーを作っている現場や、豊田市の山間地を見学して取り組みを知る。	
参加者の反応	「風力発電、小水力発電を見学して自然エネルギーを身近に感じた」、「どんぐり工房での昼食が里山を味わえてとてもよかった」などの声があった。	
材 料 ・ 道 具		

番 号	No. 16	
区 分	専門分野講座（外部講師）	
講 座 名	自由研究応援ワークショップ ～水博士になろう～	
日 時	8月18日（日） 10：00～12：00	
講 師	橋本淳司氏（アクアスフィア）	
対 象	小学生（1・2年生は保護者同伴）	
参 加 人 数	20 人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	自由研究のヒントを提供。水についてのワークショップを行い、子どもたちに暮らしの中の水を考える機会を持ってもらう。	
参加者の反応	クイズやゲームを用いたワークショップは、子どもも大人も楽しみながら取り組めた。「身近な水の大切さがよくわかった」と好評だった。	
材 料 ・ 道 具		

番 号	No. 17	
区 分	専門分野講座（外部講師）	
講 座 名	ちりめんモンスターを探せ	
日 時	8月20日（火） 13：30～15：30	
講 師	高山博好氏 （耕さない田んぼの学校 エコたん）	
対 象	小学4年生以上	
参 加 人 数	14人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	ちりめんじゃこの中に混ざっている小さな海の生き物を探す。	
参加者の反応	いろいろな生き物があることに触れることで、生物多様性や生き物の絶滅などの話が実感として感じられた様子だった。	
材 料 ・ 道 具	ちりめんじゃこ（専用のもの）、竹串、ボンド、台紙など	

番 号	No. 18	
区 分	グリーンマップ	
講 座 名	グリーンマップってなあに？	
日 時	8月24日（土） 9：30～12：00	
講 師	中川恵子氏（グリーンマップあいち）	
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	16人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	グリーンマップのねらいやアイコンの紹介の後、実際に参加者の自宅から eco-T までの地図を作成した。	
参加者の反応	講座後には、「グリーンマップの話を初めて聞いた」、「実際に歩いてみたい」との声があった。	
材 料 ・ 道 具		

番 号	No. 19	
区 分	エコットクッキング	
講 座 名	フルーツパフェと米粉ケーキをつくろう	
日 時	9月15日（日） 13：00～15：30	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上の親子	
参 加 人 数	28 人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	豊田市産の果物を使ったおやつ作りを通して、地産地食を学ぶ。	
参加者の反応	豊田市産の果物がおいしくて好評だった。いちじくを初めて食べた子どもから「おいしい」という声があった。	
材 料 ・ 道 具	エプロン、三角巾、ふきん、マイ箸	

番 号	No. 20	
区 分	かんたんエコ手芸教室	
講 座 名	ポーチをつくろう	
日 時	9月21日（土） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	中学生以上	
参 加 人 数	13人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	はぎれやシャツなどを利用してポーチを作る。	
参加者の反応	ばね口金という金具を使用しながらはぎれを使い、「かわいいポーチを作れた」、「作り方の教え方が丁寧でよかった」との声があった。	
材 料 ・ 道 具	裁縫道具（針、糸、はさみ、チャコ）、ものさし、古布・はぎれ（50cm角程度）	

番 号	No. 21	
区 分	eco-T 活用講座	
講 座 名	探検！ごみのゆくえ 渡刈クリーンセンターを見学しよう	
日 時	10月14日（月） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	どなたでも（小学生以下は保護者同伴）	
参 加 人 数	43人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	自由なペースで気軽に渡刈クリーンセンターの見学ができる機会を作ること、ごみ減量やeco-Tの取り組みに関心を持ってもらう。合わせてクイズラリーも実施した。	
参加者の反応	「子どものペースに合わせて見学しながら、詳しい説明も聞けてよかった」との感想もあった。対応したインタープリターも説明の仕方を工夫するなど、普段の見学にいかせることもあった様子だった。	
材 料 ・ 道 具		

番 号	No. 22	
区 分	エコ絵手紙講座	
講 座 名	秋編	
日 時	10月26日（土） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	8人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	旬を描く絵手紙を通して、エコについて考える。	
参加者の反応	秋を感じさせる柿やリンゴをモチーフにした作品も多く、「食べ物は残さずいただきたい」など、環境を意識した言葉も多く描かれた。	
材 料 ・ 道 具	筆、水彩画道具、絵手紙道具、描きたいもの（花、果物など）、古タオル	

番 号	No. 23	
区 分	エコットクッキング	
講 座 名	芋まんじゅうをつくろう	
日 時	11月9日（土） 13:00～15:30	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上の親子	
参 加 人 数	21人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	豊田市産の旬の野菜を使ったおやつ作り。	
参加者の反応	「材料の無駄をなくす工夫や、旬のものを使った調理は楽しい」という声が多かった。	
材 料 ・ 道 具	エプロン、三角巾、ふきん、マイ箸	

番 号	No. 24	
区 分	バスツアー	
講 座 名	食器のリサイクルを見に行こう	
日 時	11月9日（土） 9:30～16:00	
講 師		
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	13人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	身近な給食食器のリサイクルの様子を見学して、ものを大切にすることや企業の3Rの取り組みについて学ぶ（山津製陶、セラミックパーク MINO）。	
参加者の反応	「食器の工場は初めて見る」という参加者も多かった。「たくさんの過程を経て出来上がる様子を見たり、自分で陶器をすることで、大切に使いたい気持ちが芽生えた」などの声があった。	
材 料 ・ 道 具		

番 号	No. 25	
区 分	エコットフォーラムムーブメント企画	
講 座 名	もじあそびワークショップ	
日 時	11月10日（日） 10:00~12:00	
講 師	長坂あゆみ氏（書道教室講師）	
対 象	5歳以上（小学生以下は保護者同伴）	
参 加 人 数	8人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	書道という日本古来の表現方法を用いて、自分の気持ちや環境への思いを表す。	
参加者の反応	「毛筆は久しくやっていない」という大人の参加者も多く、書くことを楽しんでいる様子だった。地球環境への思いや節電など啓発的な言葉も、楽しく工夫して書いていた。	
材 料 ・ 道 具	毛筆、墨汁	

番 号	No. 26	
区 分	かんたんエコ手芸教室	
講 座 名	カルトナージュを体験しよう	
日 時	11月16日（土） 10:00~12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	14人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	不用になった布や厚紙を使い、実用性のある小物入れを作る。	
参加者の反応	素敵なトレーができて参加者はとても満足している様子だった。今回は裁縫ではないので、子どもの参加も期待したが申し込みはなかった。	
材 料 ・ 道 具	古布・はぎれ（30cm程度の長さ）2種類、筆、はけ、はさみ、ものさし（30cm程度）、洗濯バサミ5個	

番 号	No. 27	
区 分	エコクラフト	
講 座 名	クリスマスを彩ろう ～アドベントカレンダーをつくろう～	
日 時	11月24日（日） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	5人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	使い捨ての封筒や紙袋を利用して、自分だけのクリスマスグッズを作る。	
参加者の反応	「再利用のものばかりなのに素敵なカレンダーができてうれしかった」、「かわいいイラストなどが用意してあってよかった」などの声があった。	
材 料 ・ 道 具	はさみ、カッター、のり、ボンド、飾り（ビーズ、リボン、シール）	

番 号	No. 28	
区 分	エコットフォーラムムーブメント企画	
講 座 名	和ごころ講座～着物を楽しもう～	
日 時	11月30日（土） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	18歳以上	
参 加 人 数	3人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	日本の民族衣装ともいえる着物を着る機会をつくり、着物とエコライフについてみんなで考える。	
参加者の反応	「タンスの中に眠っていた、祖母が買ってくれた着物を蘇らせることができて感無量でした」とのうれしい声があった。	
材 料 ・ 道 具	着物一式	

番 号	No. 29	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	クリスマスツリーをつくろう	
日 時	12月1日（日） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	18人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	LEDについて、電子工作をしながら考える。	
参加者の反応	「LEDの分別の話や原理についての話がおもしろかった」などの声があった。	
材 料 ・ 道 具	電子部品、はんだごて	

番 号	No. 30	
区 分	グリーンマップ	
講 座 名	まちエコ発見隊～大林編～	
日 時	12月21日（土） 13：00～15：30	
講 師	インタープリター	
対 象	2歳以上の親子（ベビーカーでの参加可）	
参 加 人 数	21人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	まち歩きを通して、自分のまちのエコな場所や地域資源を発見する。 商店の環境活動に関する取り組みを聞く。	
参加者の反応	立ち寄った商店での話や体験が楽しく好評だった。「ごみ拾いをしながら歩きたかった」との声もあった。	
材 料 ・ 道 具		

番 号	No. 31	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	石ころから見える歴史	
日 時	1月12日（日） 10:00～12:00	
講 師	西村寿雄氏	
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	35人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	石の分類をしながら、地球の過去と未来について考える。	
参加者の反応	石という身近なものを通して、地球の環境や成り立ちなど、いろいろなものに興味の持てる内容だった。大人の参加も多かった。	
材 料 ・ 道 具		

番 号	No. 32	
区 分	かんたんエコ手芸教室	
講 座 名	おひなさまをつくろう	
日 時	1月18日（土） 10:00～12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	中学生以上	
参 加 人 数	14人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	使わないはぎれを使い、愛らしいおひなさまを作る。	
参加者の反応	「いろいろな作り方があるが、簡単にできるものでよかった」、「かわいらしくて癒される」などの声があった。	
材 料 ・ 道 具	裁縫セット、古布・はぎれ	

番 号	No. 33	
区 分	エコクラフト	
講 座 名	ウォールポケットをつくろう	
日 時	1月25日（土） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	3人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	紙袋や封筒を使って、ウォールポケットを作り、整理整頓に使う。	
参加者の反応	紙袋の形をいかしたアイデアが面白く、参加者が自由な発想で個性豊かな作品を作ることができた。	
材 料 ・ 道 具	はさみ、のり、カッター、木工用ボンド、カッティングボード	

番 号	No. 34	
区 分	エコットクッキング	
講 座 名	豚汁をつくってあったまろう	
日 時	1月26日（日） 10：00～13：00	
講 師	インタープリター	
対 象	小学生以上の親子	
参 加 人 数	17人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	冬が旬の野菜を使い、調理をして、地産地食の大切さを理解する。	
参加者の反応	子どもたちが積極的に調理に参加して、完成できた。	
材 料 ・ 道 具	エプロン、三角巾、ふきん、マイ箸	

番 号	No. 35	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	燃料電池車を走らせよう	
日 時	2月9日（日） 10：00～12：00	
講 師	市民ボランティア	
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	26人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	燃料電池車の原理とその将来性について考える。	
参加者の反応	ミニカーを実際に走らせることで、燃料電池についての理解が深まったようだ。大人の参加者からも「とても勉強になった」との声があった。	
材 料 ・ 道 具		

番 号	No. 36	
区 分	リメイク講座	
講 座 名	冬のあったかグッズをつくろう	
日 時	2月20日（木） 10：00～12：00	
講 師	インタープリター	
対 象	18歳以上（幼児同伴可）	
参 加 人 数	9人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	愛着のある衣服を生まれ変わらせるリメイクを楽しむ。	
参加者の反応	「元の服の形や素材をいかして、自分だけの作品が作ることができて楽しかった」、「ネックウォーマーなど、切るだけで使えるようなものも紹介してもらい、リメイクが身近に感じられた」との声があった。	
材 料 ・ 道 具	裁縫道具、着なくなったセーターやフリース、裏地布（50cm角程度）×2枚	

番 号	No. 37	
区 分	もった博士のかがく倶楽部	
講 座 名	水の表面のふしぎ	
日 時	3月9日（日） 10：00～12：00	
講 師	市民ボランティア	
対 象	小学生以上（小学生は保護者同伴）	
参 加 人 数	15人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	水の表面の観察、水と洗剤の実験、牛乳せっけん作りなど。	
参加者の反応	「小さい子どもでも、その気になるように、次々と話が進んだのでよかった」という声があった。	
材 料 ・ 道 具	バケツ、1円玉、無添加せっけん、牛乳	

番 号	No. 38	
区 分	企業との連携講座	
講 座 名	エコ・クッキング教室 ～かぶのグリーンソースパスタをつくろう～	
日 時	3月11日（火） 10：30～13：10	
会 場	東邦ガス（株）豊田営業所 2F クッキングサロン	
講 師	東邦ガス（株）インストラクター	
対 象	18 歳以上	
参 加 人 数	23 人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	旬の食材を使っておいしい料理を作りながら、環境を守るためのエコクッキングのポイントを学ぶ。	
参加者の反応	「洗いのものは汚れをとってから、といった台所でできるエコを教えてもらってよかった」という声があった。	
材 料 ・ 道 具	エプロン、タオル、ふきん、広告チラシ（ごみ箱用）	

番 号	No. 39	
区 分	かんたんエコ手芸教室	
講 座 名	がま口財布をつくろう	
日 時	3月15日(土) 10:00~12:00	
講 師	インタープリター	
対 象	中学生以上	
参 加 人 数	17人	
ね ら い ・ 実 施 内 容	はぎれを使って、がま口財布をつくる。	
参 加 者 の 反 応	がま口の金具の取り付けが少し難しかったようだが、全員が時間内に完成させることができて喜んでいた。これまでのエコ手芸講座で学んだことをいかして手づくりしたバッグを持参し、紹介してくれた参加者もいた。	
材 料 ・ 道 具	裁縫道具、古布・はぎれ、がま口金	

(2) 連続講座「未来へのエコトーク 2013」

●目的

- ・さまざまな分野で活躍している講師を招き、eco-T にかかわる人々や環境に関心のある人々が環境問題の理解を深めたり、行動に移すきっかけをつくる。

●実施内容

- ・以下のテーマで計3回の講座を実施した。
- ・講演後に講師を囲んでのティータイムを実施し、質疑応答の続きや、参加者どうしの交流を図った。
- ・当日参加できない人にも講演の様子を伝えられるように、ビデオ録画をした。
- ・第2回講座に合わせて、講師の小原さんが撮影した「動物写真展」を開催した。

No.	日時	テーマ	講師	参加人数
1	8月18日(日) 13:30～15:30	水	橋本 淳司 (アクアスフィア)	28
2	10月13日(日) 13:30～15:30	地球温暖化	小原 玲 (動物写真家)	39
3	2月2日(日) 13:30～15:30	エネルギー	松田 直子 (株式会社 Hibana)	51



第1回：橋本さん



第2回：小原さん



第3回：松田さん

●成果

- ・計3回の講座で、のべ118人、1回平均39人が受講した。
- ・自分の言葉で発信し続けている講師3人の思いのこもった講演に、感銘を受けた様子が感じられた。
 - ー森を守ることが水を守るとは耳にしていたが、先生の話聞いて納得した（第1回）
 - ー日本でもきれいな水に困っている人がいると聞いてショックだった。水道水を当たり前のように使っていたが、「水は限りあるもの」と意識して使うように心がけたい（第1回）
 - ー「温暖化を解決するのは簡単だけれども、人間がその方法を選択するのが難しい」という言葉が心に残った。私自身、自然に触れる機会を増やして、もっと自然を好きになりたい（第2回）
 - ー何をすべきか、わかった。緑を増やす。自分の生き方を子どもたちに見せてやりたい（第2回）
 - ー森林バイオマスの利用がエコだけではなく、地域の雇用を創出できることがわかった（第3回）
 - ーバイオマスエネルギーを使うことの大切さがわかった。化石燃料に頼っているのが、心が痛かった。

くらしを見直して、少しずつでも取り入れていきたい（第3回）

（3）エコットひろば

●目的

- ・おもに休日に、オープンな展示室でエコクラフト講座を実施することで、来館者にエコライフ講座に関心を持ってもらうきっかけをつくる。

●実施内容

- ・以下のテーマで計7回（各回とも、同日に同じ内容で2回ずつ開催）、一時間程度のクラフトの講座を実施した。

No.	日時	講座のテーマ	参加人数
1	4月29日(月) ①10:00～10:45 ②11:00～11:45	牛乳パック工作 ～ごみ収集車をつくろう～	21
2	5月12日(日) ①13:00～13:45 ②14:00～14:45	お菓子パッケージ工作 ～ストラップ＆マグネット～	14
3	6月16日(日) ①10:00～10:45 ②11:00～11:45	手づくり入浴剤をつくろう	11
4	10月12日(土) ①10:00～10:45 ②11:00～11:45	さき織りでコースターをつくろう	7
5	12月21日(土) ①10:00～10:45 ②11:00～11:45	みつろうキャンドルをつくろう * ワークショップルームで実施	19
6	1月13日(月) ①10:00～10:45 ②11:00～11:45	なつかしのおもちゃづくり ～わりばし鉄砲＆牛乳パックぽっくり～	7
7	2月11日(火) ①10:00～10:45 ②11:00～11:45	新聞紙でエコバッグをつくろう	8



●成果

- ・年間7回の講座で、のべ87人の参加があった。

- ・オープンな展示室で開催しているため、定員に余裕のあるときには、事前予約のない来館者にも参加してもらうことができた。
- ・簡単な工作体験を通して、環境のことやエコライフを考えるきっかけをつくることができた。
- ・講座の後に渡刈クリーンセンターの見学や展示室のプログラムを体験する方も多く、eco-T をより知ってもらえる機会になった。